

2016（平成 28）年度報告

地域と連携した取組み等【本学の活動事例】

<対象>

1. 小学校・中学校
2. 高等学校、大学
3. 講座、共同事業
4. 教員免許状関係
5. その他

<活動事例>

スクールサポート、キッズ・ユニバーシティ・おやま
高大連携、大学見学、出張講義、高校主催進学ガイダンス、
高校教員対象入試説明会、大学コンソーシアムとちぎ
市民開放講座、公開講座、産学官ネットワーク、出前講座
免許法認定講習、教員免許状更新講習
講師派遣、部活動の取組み、ボランティア活動



白鷗大学

1. 小学校・中学校

活動	提携先	学校種	支援内容
スクールサポート 担任が進める授業支援	小山市、下野市、古河市、結城市、 （教育委員会） 小山市 ・2006年度支援開始 ・2007年度協定締結 下野市・古河市 ・2009年度協定締結 結城市 ・2015年度協定締結	小学校、中学校	・国語、算数、数学、理科、社会、英語（HLT, ALT のアシスタント）の学習支援 ・基礎、基本的学習内容の個別指導 ・図工、家庭科、体育、音楽等における実技指導の補助 ・特別支援学級における生活・学習支援 ・部活動支援（陸上、バスケットボール、サッカー等） ・放課後子ども教室の学習サポート ・業間休み、休み時間における児童生徒とのふれあい等
		適応指導教室	「アルカディア」（小山市）、「スマイル教室」（下野市）、「教育支援センター」（古河市）、「フレンドゆうの木」（結城市） ・学習支援や諸活動における補助
		外国人児童生徒適応指導教室	「かけはし」（小山市） ・外国から来日したばかりの児童生徒への日本語指導や生活適応指導

派遣学生の延べ人数と支援学校数（過去4年間）

	2013（平成25）年度		2014（平成26）年度		2015（平成27）年度		2016（平成28）年度	
	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数
栃木県小山市	145人	31	333人	31	305人	31	270人	33
栃木県下野市	26人	14	38人	14	37人	15	33人	15
茨城県古河市	17人	10	32人	25	23人	11	10人	7
茨城県結城市	－	－	－	－	－	－	26人	4
計	188人	55	403人	70	365人	57	339人	59

活動	提携先	対象	開催内容
キッズ・ユニバーシティ・おやま 小山市の将来を担う子供たちの知的好奇心を刺激し、学問への憧れを抱く学びの機会を提供する。	小山市（教育委員会） 第1回 2012年 7月28日(土) 第2回 2013年 8月4日(日) 第3回 2014年 7月21日(月・祝) 第4回 2015年 10月12日(月・祝) →第4回：台風18号集中豪雨に伴う水害で中止 第5回 2016年 7月18日(月・祝)	小山市在住 or 市内小学生 6年生対象	小山工業高等専門学校、関東職業能力開発大学校との3校連携実施。 <第1回開講講座>（31名） ①お金って、なあに ②楽しい「心理学」入門 ③科学するところ？ <第2回開講講座>（43名） ①ふうせんたまごを作ろう ②ダンス ③生活と税金（消費税） <第3回開講講座>（45名） ①レクリエーション実技 ②心理学入門 ③哲学入門 <第5回開講講座>（12名） ①カウンセリング入門！ ②まちをデザインする ③ニュースポーツ

2. 高等学校、大学

活動	対象校	提携の形態	協定内容・実績
高大連携	白鷗大学足利 高等学校	大学＝高校	英語と教育学部の一部科目。 高校生は特別聴講生として受講 (単位取得可)
<目的> 相互に連携し、交流を深めることにより、両校における教育内容の充実と学生および生徒の資質向上を図る。	小山南高等学校 * 2012(H24)年度より (平成 26・27 年度 実施無)	教育学部＝高校	小山南高校： 栃木県内唯一のスポーツ科を設置。 →専門的な学習・活動のために白鷗大学スタッフの協力体制を要望。 ・大学生による授業、部活動支援などスクールサポート事業、 ・高校による教育実習の受け入れ協力など、さまざまな交流を行う。
	小山城南高等学校 * 2013(H25)年度より	教育学部＝高校	1. 白鷗大生によるスクールサポート 2. 城南高校による白鷗大生の教育実習への協力 3. その他、双方が協議し同意した事項
大学見学	県内外の高等学校		H28：11 校
出張講義	県内外の高等学校	教員	昨年度実績(H28)：13 校 16 講義
高校主催進学ガイダンス	県内外の高等学校	教員、職員	昨年度実績(H28)：54 校 * 業者主催の会場ガイダンスを除く
高校教員対象 ／入試説明会	他県を含む高等学校	<主な参加者> 進路指導主事 3 学年担任教諭	近隣県、栃木県南・県北の高等学校の先生方が出席しやすい環境を整えるため、 国際医療福祉大学と共催実施。 ① 白鷗大学開催 (H28.6.16 実施) ：66 校・70 名の先生が参加 栃木県 50 名、茨城県 11 名、群馬県 3 名、 宮城県 1 名、福島県 5 名 ② 国際医療福祉大学開催 (H28.8.3 実施)
大学コンソーシアム とちぎ * 平成 17 年 4 月に結成	栃木県内 19 の 高等教育機関	協同体	特色のある栃木県下の高等教育機関が連携することで、大学の特色を一層発展させるとともに、各大学の教育・研究の充実・発展に寄与する。また大学が持つ多様な知的資源を有効に活用し、県・自治体及び産業界のみならず、広く県民と連携し、地域の活性化につなげ、魅力ある栃木県づくりに貢献する。

● 高大連携：鹿沼高等学校 H28 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① 講演会	1～3 年生全員	主権者教育について
② 講演会	教員向け研修	「心の回復力（レジリエンス）」

● 高大連携：小山南高等学校 H28 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① 講演会	1～3 年生全員	ボランティアに関する講演

分野	対象	内容
① ピアサポート	3 年生の国語研究の受講生	人との関わり方に関するピアカウンセリング 講師の講義と学生による模擬面接 白鷗大学生によるワークショップとロールプレイを実施。
② 講演会	1 年生全員	講演テーマ「よりよいコミュニケーションのために」
③ ニュースポーツ交流	3 年生「健康スポーツ B」受講生	ニュースポーツと呼ばれる種目（フライングディスク、キンボール）の学生による指導。
④ 白鷗祭参加	ダンス部員、書道部員	ダンスと書道パフォーマンスを白鷗祭で披露。

3. 講座、共同事業

名称・目的	開講・募集	内容・開講数・受講者数など	
白鷗大学市民開放講座 ・大学の正規授業を広く一般市民に開放。 ・市民に専門的な学習機会を提供する。 ・大学のスクールバスや図書館等の施設利用可。	前期・後期で受講生を募集 ＊結城市は平成 28 年後期から開放開始 共催：小山市教育委員会（生涯学習課） 結城市教育委員会（生涯学習課） 申込：小山市教育委員会 結城市教育委員会 対象：市内在住・勤務通学者	<H28 前期> 134 科目開放 49 科目：のべ 86 名	<H28 後期> 107 科目開放 【小山市】40 科目：のべ 66 名 【結城市】2 科目：のべ 2 名
白鷗大学公開講座 前期・後期で受講生を募集	市民向けに専用講座を開講 1 講座（全 2 回または 4 回） 申込： 白鷗大学（地域連携サポートセンター） 対象： 一般市民・学生	<H28 前期・開講テーマ> 落語と歌舞伎～笑い涙の経済学（22 名） 大人に大歓迎！子どもの本の魅力（11 名） 著作権を知る（お金を払って買った CD 音楽でも、自由に使用できません）（10 名） 地方創生・地域づくりと政策法務（8 名） パソコン基礎講座（9 名） ★特別講座←小 3 から中 2 生「夏休み 楽しい読書感想文講座」（17 名）	<H28 後期・開講テーマ> 地域を元気にする視点・手法（12 名） ①生活改善運動から学ぶ地域活性化 ②『稼ぐ』地方創生へ～地域社会のネットワークと場づくり～ ③大学生と考える地方創生の処方箋 ④スポーツの可能性を考える ほめの科学—先生・お母さんお父さん・職場の上司のための—（9 名） 商品の名前は独占できます。それが『商標』（5 名） ヨーロッパ世界遺産と歴史の旅（31 名） スマホ、タブレット用 Web サイトを作ろう！（10 名） 運動学から見たオリンピック（7 名） ボランティアコーディネーション検定 3 級直前講座（9 名） 歌で学ぼう、ちょこっとスペイン語（27 名）

		★大学院公開講座 全 12 回 (15 名) ①金融政策を考える～量的緩和とマイナス金利をめぐる ②設備投資計画と貨幣の時間的価値の変化 ③日本の自動車産業 ④日本企業のグローバル投資と中国戦略の行方 ⑤学問の三段階 ⑥東芝における不正会計問題 ⑦グローバル企業の異文化適応戦略 ～ポケモンの海外進出を事例として～ ⑧シニアの大学院教育 ⑨交通と風土－時間、空間と知識・情報－ ⑩地方創生とイノベーション ⑪日本経済の課題と展望 ⑫最近の経済状況～景気・為替・株価の現状と展望
白鷗大学いきいき公開講座 <平成 27 年度から開講> ・地域に根ざす大学として、この夏シニアのために学びの場を提供	申込：白鷗大学 (地域連携サポートセンター) 対象：65 歳以上の方 関心を持つ方は年齢不問	<H28 夏期> コンピュータを活用して健康管理 (10 名) 落語や歌舞伎、能、狂言と経済の話 (31 名) ヒット商品はこうして生まれた (17 名) 「下流・漂流」ではない“中流健康老人”を創る！ (20 名)
白鷗大学公開最終講義		LAST レクチャー&コンサート「<名前のないアート>について」 「動物の文化を考えるーカラスとサル」 「出会い」 「<子ども>を発見する国語の授業」
おやま産学官ネットワーク推進協議会 共同事業 *平成 14 年設立	白鷗大学、小山工業高等専門学校、関東職業能力開発大学校、小山市(工業振興課)、商工会議所商工会協議会	・産学官連携のためのネットワークづくり
おやま・まちづくり出前講座	講師等の派遣 主催：小山市教育委員会 (生涯学習課) 対象：小山市内在住等の 10 人以上団体 会場：市内の公共施設・自治会の公民館・企業・個人宅	<H28 実績> 4 講座開設：のべ 54 名 出前講座メニュー (11 講座) 中学生、高校生のための心理学講座 中学生、高校生のための国際理解講座 中学生、高校生のための英語上達法 やさしく学ぶ経済学 現在の経営学 身近な法律を考える 世界の文化を学ぶ 芸術の世界 (4 名) スポーツ健康の楽しみ (20 名) これからの社会の行くえ (13 名) まちづくりとボランティア (17 名)

結城市 ふれあい出前講座 白鷗大学編 * 平成 22 年 6 月から開設	講師等の派遣 主催：結城市市民活動支援センター 対象：結城市民、または市内に通勤・通学 20 人以上の団体・グループ（自治会、婦人会、PTA、学生など）	<H28 実績> これからのまちづくりを考えよう（28 名）
結城市 協働のまちづくり連続講座 * 平成 28 年新規	講師等の派遣 主催：結城市市民活動支援センター	<H28 実績> 連続 3 講座開設：12 名 ～まちに飛び出して考えよう～ 講義 まち歩き ～まちに飛び出して考えよう～ 講義 グループワーク ～まちに飛び出して考えよう～ グループワーク 提案発表
結城市 白鷗大学公開講座	講師等の派遣 会場：結城市民情報センター 3 階 多目的ホール 夜間開催 18:30～20:00 主催：（公財）結城市文化・スポーツ振興事業団	<H28 実績> 連続 5 講座開設：26 名 地方都市の現状と地域社会の課題について～結城市を例に～ 『稼ぐ』地方創生へ～地域社会のネットワークづくり～ 大学生と考える地方創成の処方箋 スポーツの可能性～地域スポーツ組織と市民性創造～ 生活改善運動から学ぶ地域活性化

4. 教員免許状関係

(1) 栃木県教育委員会免許法認定講習（栃木県教育委員会事務局 教職員課総務担当）

<目的等>

- ・ 栃木県教育委員会が開設する免許法認定講習
- ・ 免許法認定講習とは、免許法及び免許法施行規則の規定に基づき開設する講習
- ・ 栃木県内の教育職員を対象に、上級免許状や他校種免許状の取得に必要な単位の習得の機会を提供し、教育に携わる職員の資質の向上を図る。

● 本学／教員派遣、会場貸出

* 本学以外に宇都宮大学でも実施。本学会場実施は平成 17 年度以降（毎年 8 月に実施）。

【白鷗大学会場の状況】

- ①平成 24 年度 8 月 6 日（月）・ 7 日（火）：4 科目（本学講師 専任 3 名＋県外講師 1 名）
- ②平成 25 年度 8 月 6 日（火）・ 7 日（水）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋本学非常勤講師 1 名）
- ③平成 26 年度 8 月 6 日（水）・ 7 日（木）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ④平成 27 年度 8 月 10 日（月）・ 11 日（火）：4 科目（本学講師 専任 3 名＋県外講師 1 名）
- ⑤平成 28 年度 8 月 8 日（月）・ 9 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）

(2) 白鷗大学／教員免許状更新講習

教員免許状更新講習実施状況

実施年度	講習数計	必修	選択必修	選択	延べ受講者数	定 員	備 考
平成 21 年度	14 講習	1	—	13	549 人	1,170 人	更新講習開始
平成 22 年度	14 講習	1	—	13	693 人	600 人	
平成 23 年度	18 講習	1	—	17	1,419 人	940 人	
平成 24 年度	21 講習	1	—	20	1,072 人	980 人	
平成 25 年度	23 講習	1	—	22	1,061 人	1,048 人	
平成 26 年度	27 講習	1	—	26	1,200 人	1,286 人	
平成 27 年度	26 講習	1	—	25	1,252 人	1,244 人	
平成 28 年度	28 講習	1	2	25	1,500 人	1,574 人	

平成 28 年度 教員免許状更新講習表

講習日	記号	区分	講習名	講師名	受講者数 / 定員	定員充足率
8月 18日(木)	A	必修	最新の教育事情	小泉祥一/荒川麻里/平野晋吾	243 / 250	97.2%
23日(火)	B	選択必修	学習指導要領の変遷と学校をめぐる変化	小泉祥一/荒川麻里	169 / 200	84.5%
	C	選択必修	教育相談（いじめ・不登校への対応を含む）	伊東孝郎	136 / 100	136.0%
10日(水)	D	選択	教育におけるコンピュータ活用：教育データの統計的分析	樋口和彦	37 / 40	92.5%
	E	選択	ハンドベル体験講座（心に響く音色を求めて）	荒井弘高	45 / 36	125.0%
	F	選択	全教諭のための英語コミュニケーション力養成	ジェフリー・ミラー	33 / 30	110.0%
	G	選択	学校事故と法	樺 博行	39 / 30	130.0%
12日(金)	H	選択	学校におけるコンピュータ活用：教育データの統計的分析	樋口和彦	40 / 40	100.0%
	I	選択	ハンドベル体験講座（心に響く音色を求めて）	荒井弘高	44 / 36	122.2%
	J	選択	English Education and Boosting Teacher English	ジェフリー・ミラー	23 / 30	76.7%
	K	選択	子どものすこやかな体を育てる（身体のこと・健康のこと）	金田健史/荒井信成	110 / 50	220.0%
19日(金)	L	選択	ハンドベル体験講座（心に響く音色を求めて）	荒井弘高	44 / 36	122.2%
	M	選択	教育におけるコンピュータ活用：Web教材の開発	黒澤和人	32 / 30	106.7%
	N	選択	自己理解のための心理学ワークショップ	伊東孝郎	42 / 40	105.0%
	O	選択	ボールゲームの系統的な指導のあり方	内田雄三	18 / 40	45.0%
22日(月)	P	選択	教育におけるコンピュータ活用：Web教材の開発	黒澤和人	30 / 30	100.0%
	Q	選択	自己理解のための心理学ワークショップ	伊東孝郎	35 / 40	87.5%
	R	選択	ボールゲームの系統的な指導のあり方	内田雄三	16 / 40	40.0%
	S	選択	小学校社会科における地域学習	奥澤信行	22 / 50	44.0%
24日(水)	T	選択	学校教育と法（憲法、民法、刑法）	岡田順太/蓮田哲也/松原和彦	54 / 100	54.0%
	U	選択	小学校理科（生命分野）の観察・実験 ー生物の多様性と共通性の理解のためにー	山野井貴浩	25 / 30	83.3%
	V	選択	国語科教育の現在と歴史	竹長吉正	14 / 30	46.7%
25日(木)	W	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	46 / 48	95.8%
	X	選択	発達障害の理解と支援	平野晋吾	70 / 50	140.0%
	Y	選択	小学校英語教育と英語絵本	大木俊英/鈴木宏枝	17 / 40	42.5%
26日(金)	Z	選択	現代史のなかの戦争と平和	清水正義	21 / 30	70.0%
	A A	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	44 / 48	91.7%
	A B	選択	ボランティア教育の実情と課題	川瀬善美	51 / 50	102.0%
認定者実数 485名	必修 243	選択必修 305		選択 952	1,500 / 1,574	95.3%

更新講習派遣講師一覧表

※必修講座「学校における危機管理上の課題」の講師派遣を、県教委(教職委員課)に依頼しました。

年度	講師名	申請時	講習時役職
H23	大川 直邦	学悠館高等学校定時制課程教頭	学悠館高等学校定時制課程教頭
H24	軽部 幸治	高根沢高等学校長	高根沢高等学校長
H25	菅谷 毅	学悠館高等学校教頭	学悠館高等学校教頭
H26	菅谷 毅	学悠館高等学校教頭	栃木県教育委員会事務局 教職員課県立学校人事担当 副主幹兼管理主事
H27	大川 直邦	烏山高等学校長	烏山高等学校長

5. その他

(1) 講師派遣件数

派遣年度	H28
計	88
栃木県	62
茨城県	4
東京都	14
山形県	2
その他	5
宮城・千葉・神奈川・ 静岡・大阪・愛媛 (各1)	

※栃木県内の派遣先

栃木県教育委員会	1	那須町こども未来課	1
栃木県教育委員会事務局	1	小山市教育委員会	6
栃木県共同組合連絡会	1	塩谷地区小中学校教頭会	1
栃木県警察学校	3	佐野市立犬伏小学校	1
栃木県県土整備部総合スポーツゾーン整備室	1	日光市教育会保健体育部	1
栃木県県民生活部県民文化課県民協働推進室	1	益子町立七井中学校	3
栃木県高等学校体育連盟	1	鹿沼南高校	1
栃木県社会福祉協議会	1	小山市教育研究会	1
栃木県小学校教育研究会宇都宮支部	1	芳賀教育会	1
栃木県小学校教育研究会下野支部	3	宇都宮大学教職センター	2
栃木県総合教育センター	1	白鷗大学足利中学校	1
栃木県体育協会	5	おやまビジネス支援連絡会	2
栃木県バスケットボール協会	1	おやま思川ざくらマラソン大会実行委員会	2
小山市役所	4	ハンドベルフェスタ in OYAMA 実行委員会	2
小山市文化芸術振興審議会	1	喜連川少年院長	1
小山市立中央図書館	1	第 77 回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部事務局	4
下野市議会	1	とちぎテレビ放送本部報道制作局制作部	1
下野市体育協会	1	壬生町ゆうがおマラソン大会実行委員会	1
栃木市役所 こども未来部子育て支援課	1		

(2) 部活動の取り組み

硬式野球部	小学生・中学生を対象とした野球教室を開催している。
陸上競技部（女子駅伝）	毎月 2 回「土曜マラソン大会」、年 3-4 回の「白鷗大学記録会」を開催している。 県や地域の陸上協議会、高体連の大会への役員協力などを行っている。
バスケットボール部	小山市教育委員会と連携し、日曜 6 時から男女別のバスケットボールゲーム指導を実施している。
ラグビー部	小学生・中学生を対象とした栃木ラグビースクールを開講中。
ダンス部	地域の子供たちに発達段階にあわせた創作ダンスを指導している。 チアペコ(幼稚園)、プチペコ(小学 1,2 年)、ペコジュニア(小学 3-6 年) ペコキッズ(特別支援児)と年齢別チーム編成。1 年間の練習成果を 12 月ダンス発表会で披露。

若者選挙推進同好会 (TEP)	栃木県と連携し、栃木選挙コースサロン、選挙啓発活動・イベント等に参加している。 また、小山市役所選挙管理委員会と連携し、小中学生の選挙啓発ポスターの審査参加、白鷗祭の協力、選挙啓発活動・イベント等に参加している。 その他、明るい選挙推進協力として、選挙啓発活動・イベント等に参加している。
サッカー部	毎月2回幼稚園でのサッカー教室を開催している。 毎年8月、11月に野木町にて小学生対象のサッカー教室を開催している。
卓球部	県内の高等学校、中学校との練習試合や合同練習を行っている。
ハンドベル部	JR小山駅の中央自由通路「さくら道」開通の周年記念イベント「さくら道まつり」(6月)のコンサートに参加している。また、小山市主催のハンドベルフェスタ in OYAMA (10月)に参加のほか、小山市・小山市文化協会主催の小山市民音楽祭(12月)に参加している。 小山市の市民チームで結成された団体である「ベルのわ」に所属し、関連するハンドベルクリスマスコンサート(12月)にも参加。 5月～11月の毎月第2・4日曜日に親子ベル(市民チーム)の練習のお手伝いをしている。
茶道部	近隣の幼稚園、小学校、中学校、介護施設、養護施設等で茶道体験教室を開催したり、開催のお手伝いをしている。小山市まちの駅思季彩館においても、茶道体験教室を実施した。 また、小山市主催の小山一夜御殿祭やおやま開運まつり等でも野点席を設けた。 その他、NPOと連携し、復興支援プログラムの一環として茶道交流会を行った。
箏曲部	小山近隣の幼稚園や保育園でミニコンサートの開催や、小学校、中学校でお琴の体験会を開いている。 また、インターナショナルフェスティバルでは地域に住む外国の方とお琴の体験を通じて交流している。

(3) ボランティア活動

小山駅東口新駅前広場 美化愛護会	本学の学生会が駅東・駅東通り2丁目の両自治会と協定を結び美化組織を発足。
未来創造ネットワーク白鷗	NPO団体など地域の様々な団体と連携し、ボランティア活動に取り組む団体。
ボランティアグループ 「ひまわり」	犯罪被害支援活動。刑事訴訟法ゼミの学生中心。 小山市や警察署と連携し、犯罪被害者のつどい等でお手伝いをした。